

校長室  
だより

# おみっ子通信

思い合いの心で みんなが笑顔！

令和7年12月25日

麻績小学校

No. 10



文責：尾台

## 成長を認め合いながら

「見て、これで描いてみた!」…先日の登校時、児童昇降口前で、凍りかけた雪の塊を手にしたAさんが指さした先を見ると、舗装された地面に大きな人が!そして、その絵をまたぎながら「おお」「すごい」と、笑顔になる子どもたち。そして、校庭を見れば白い息を吐きながらサッカーを始めている子どもたちも。寒い冬の朝でも、楽しみを見つけるのが上手な子どもたちの姿が見られます。

さて、おかげさまで、本日82日間の2学期を終えることができました。

麻績村三校園による「おみっこミュージックフェスティバル」はじめ、保育園との交流、中学校との交流などもたくさんあった2学期。子どもたちがお互いの成長を認め合うだけでなく、私たち職員もそれぞれの場で成長している子どもたちの姿を通して、三校園として目指していく姿を考える機会ともなりました。来年も引き続き、子どもの成長過程でのつながり、また学校間のつながりを意識しながら、「心豊かに たくましく」生きていくおみっこが育つよう、努めていきたいと思います。

いつも温かく応援してくださる保護者の皆様、地域の皆様、本年も大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。来たる年が、皆様にとって笑顔の多い年となりますように。

### 12月の麻績小ダイジェスト



＜一緒に「いただきます」＞ 11月、12月と生産者の皆さんはじめ、給食にかかわってくださっている方々と一緒に給食をいただく機会がありました。麻績小では毎日、その日の食材を提供してくださっている地元生産者さんのお名前を紹介しているので、お名前とお顔が一致する、そして感謝の気持ちをお伝えすることができる、よい機会にもなりました。



＜張り切る1年生＞ 1、2年生が高学年の力を借りながら収穫したサツマイモ。是非、みんなにも食べてもらいたいということで、1年生が中心となって「全校焼きいも会」を行いました。焼きいもの準備をしたり、会の内容を考えたりするだけではなく、当日は代わる代わるマイクを握って司会も務めた1年生。立派でした。





＜本の世界に浸る＞ 読書旬間では、地域の方、職員の読み語りの他にも、高学年が低学年に自分の選んだ本を読み語る機会もありました。本を真ん中にすると、自然と表情も優しくなります。



＜ようこそ樋口選手＞ 11日には、松本山雅FCの樋口大輝選手が来て下さいました。子どもたちは、質問にサインにと大盛り上がり。選手も子どもたちから元気をもらえたようです。



＜ご参観ありがとうございました＞ 先月、インフルエンザ感染拡大予防のため、急遽中止した参観日の代わりとして計画した自由参観日。おかげさまでたくさんのお家の方々にご参観いただきました。発表を計画していた全校合唱「ふるさとの四季」も体育館いっぱいに響く歌声を披露でき、5年生は楽しみにしていた収穫祭もでき、うれしそうな表情の子どもたちでした。



＜おみっこパワーを！＞ 3年生は、デイサービスに通われている皆さんとの交流の機会をいただき、腕をみがいてきた太鼓の演奏と、運動会で踊ったソーラン節を披露しました。「おみっこパワー」を感じたみなさんに大きな拍手をいただき、笑顔の子どもたちでした。



＜自ら進んで＞ 村に雪が積もった15日、出勤した職員が雪かきをしていると、登校した6年生が次々と「やります！」と、自ら雪かきを持ち出し、雪かきを始めました。こういう頼もしい6年生の姿が、憧れる姿のある学校をつくってくれています。

#### ＜お願い＞

◇12月はお忙しい中、個別懇談会の時間をとっていただきありがとうございました。懇談期間にかかわらず、お子さんについて気になること、ご心配なことがあれば、いつでも担任等にご連絡、ご相談ください。なお、現在も保護者の皆様にはご配慮いただいておりますが、引き続き会議、懇談等は、職員の勤務時間内（16時45分まで）の設定にご協力ください。